東京片貝会報
発行所
東京片貝会
中央区日本橋江戸橋1～9
化学工業技術同友会内
電話（271）1922

第十二回の懇親総会
青葉の須賀神社で開催
ミツコンジイサンの上演で興わく

第十二回東京片貝会懇親総会は六月十三日正午から、昨年にひきつづき四谷の須賀神社（二階大広間）を会場に開催された。つゆどきの心配された天候も、さいわい陽があがるにつれ明るく晴れて、むし暑さもなく恵まれた大会日和となった。

今回は開会時間を一時間くりあげ、十一時から受付をはじめる。すでに役員たちは十時から馳せ参じ会場の準備にとりかかる。正午を廻わると会場は満員の盛況、正面には片貝から遠来の客人、郡司中学、吉田（代）小校長、山田支所長、佐藤佐平治、吉原源吉さんたちが席を占める。十二時過ぎ安達市郎さんの司会で開会、いつもながら如才のない態度でこまやかなあいさつをおこなう。ついで安達龍作会長から郷土と出郷者との結びつきについて、片貝の産業振興によせる建設的な希望の言葉が述べられた。つぎに安達会長が議長席につき、型のとおり議事をすすめる。小林敬司副会長から、事業報告ならびに会計報告があり、一同異議なく承認す。役員の改選にあたり、議長一任ときまり、追って協議の上、後日発表することにした。藤塚副会長から長寿健康法についてのねんごろな閉会のあいさつがあって総会を終了した。

それより来賓あいさつに移り、山田支所長から道路の改修や町務の現況についての報告、郡司校長から中学の近況（学力、体力、知力づくり）に関する生徒の教育方針について、学校当局の指導要領などが語られた。

それより待望の懇親会が芝桂七長老の音頭で一同乾杯して幕をひらく。郷土から招かれたミッコン爺さんの一行によってたのしい郷土芸能が、なつかしいおはやしとともに上演される。そのほか芸達者の会員による日本舞踊が数番ひろうされ感興を盛りあげる。酒杯、ビールの献酬、折詰のご馳走をパクつき、大いに飲み、かつ唄い、談笑する。さいごに有志が舞台にあがり、木遣り音頭を元気よく唱和して五時ごろ名残りを惜しみながらえんえん半日におよぶ懇親の集いを散会した。

当日の出席者及び収支は次のとおり。

有志の木遣り音頭

◎出席者名（敬称略、順不同）

来賓…山田敏雄（片貝支所長）郡司哲三（中学校長）金子久雄（小学校教頭）佐藤佐平治、佐藤正雄、吉原源吉、小野塚久雄、佐藤松平、堀井嘉平、以上九名

余興…相崎富一外七名（片貝町）外四名、以上十二名

会員…相沢善次郎、相崎政弘、相崎尚次、同マサ、安達市郎、同静子、安達宗吾、安達徳太郎、安達道宗、安達龍作、安達ヒロ、新野今朝二、石黒佐忠太、五十嵐キヨ、石上りやう、芹川とし、内山サカエ、大内登世、大矢良平、大矢福次、大矢修一、小川茂雄、大塚たけ、小野志代子、小野塚イシ、小野塚マツ、神林健治、神林徳次、勝又功、加藤キヨ、気田登美、杵渕よし、日下部政子、黒崎和一郎、黒崎せき子、黒崎スイ、小林敬司、小宮竹次、小宮とく、小島博子、佐藤正雄、佐藤量八、佐藤竹士、同広次、佐藤フサ、佐藤ヨシ、佐藤イツ、芝桂七、品田単治、須藤文子、早川松太郎、長谷川江津、馬場きい、広井三代次、樋爪きみ、藤塚太郎、藤塚栄三郎、本田政秀、丸山貴司、丸山茂、丸山フジ、三重堀繁蔵、三重堀新二、皆川せん、山口三郎、山口富次、山田せし、山崎キイ、吉井マス、吉原周治、吉原伸治、吉原菊枝、渡辺左武郎、和田力子、和田房江、山口よし、本田洲平、山口吉五郎、佐藤フミ、佐藤栄子、山田ちえ、山田きよ、小野要子、久賀トシ子、高橋ふさ子、高野悦子、本田松次、山口盛作、小林倉三郎、清水六郎、安達昭二、大矢常吉、黒崎孝道、長谷川事務課、以上九五名、総出席者一一六名

◎本総会収支（収入の部）

総会会費（九四名分）	九四、〇〇〇円
寄付金（二八名分）	四二、六〇〇円
来賓祝儀（九名分）	二七、〇〇〇円
年度会費（一〇一名）	三〇、三〇〇円
合計	一九三、九〇〇円
（支出の部）	
吉池支払（折詰赤飯）	七六、八〇〇円
酒屋支払（酒、ビール、ジュース）	三一、八二〇円
菓子支払（一二〇個）	八、四〇〇円
須賀神社（会場費）	一五、一〇〇円
旅費（校長、余興）	一七、六〇〇円
雑費（来賓接待費）	三、九六〇円
合計	一五三、六八〇円
差引残高	四〇、二二〇円

右は一般会計へ繰入れました。なお寄付金及び年度会費の内欠席者の分も含みます。

あいさつにかえて

わたくしは去る昭和四十五年に勤続十年の表彰をうけました。老令に加えて日常生活に忙殺されておるので、その責任の地位からはずさせていただくよう、役員諸氏に懇請していますが、いまだ格好な適任者がないとの理由で不履行のままとなっています。

顧りみて今年で十二年になりますが、歳月の去来のあまりの慌しさにひたすら嗟歎するばかりです。この間に実行しました具体的な仕事はいろいろありますが、例えば永年精勤者の表彰、これは片貝出身の事業経営者の許で、同じ郷里から永年勤続者の表彰です。とくに、元の大塚中学校長の上京を煩わし同校長から賞状賞品を手渡ししました。茸狩りをかね郷里人との懇親会、椿まつり旅行会、巫子シイさんの一行招へいなどがあります。究極するところ郷里とのつながりをどう強化したらよいか。なんと言っても建設的な企画が大切です。それから仲使山嘉参道の修理や同休憩所の寄付行為などはその念願によるものです。小会が今回提案（二面）しました旧招魂場における平和祈念祭、教育感謝祭の行事が、どこまで郷里と出郷者との人間交流によい実を結ぶかを期待しています。厳粛な式典のあと、青空の下でたくさんの人達がくつろぎ酒杯を汲みながら、はだかになって懇親をかさねてゆけば、そこになにかしら意義ある成果の生れることを望んでいます。

（安達龍作）

役員会

第十二回総会終了による慰労をかね、総会席上において役員一任となった新役員改選銓衡会議を、七月十日（土）五時より「吉池」で次の諸氏が出席して開催した。

まず安達龍作前会長より片貝人の郷土愛による一層の協力を要請したのち会長辞任の申出があり、ついで藤塚太郎氏の副会長辞退の意が伝達され一同これを承認した。次に事務担当係より総会の収支決算書を詳細にわたり回覧したのち新役員の銓衡会議に入った。

始めに新会長の人選については安達前会長の辞意がかたく留任の見こみのないことから、丸山副会長を推せんしたが同氏がこれを受託せず。結局安達市郎副会長の案として、安達前会長を名誉会長として、会長代行機関として、丸山、安達（市）、小林、三副会長の合議のもとに会長事務取扱とすると、丸山副会長を筆頭として、安達（市）小林両副会長がこれを補佐して会務を推進することに決定した。

なお副会長の欠員補充に鶴田国茂、三重堀繁蔵両氏を、幹事に相崎善次郎、佐藤量八両氏を新任した。幹事長の銓衡については追って新役員会において決めることとし、差当り渡辺左武郎氏に幹事長代理を委嘱して晩餐を共にしながら種々懇談八時ごろ散会した。

当夜の出席者次の通り（順不同敬称略）安達龍作、安達市郎、丸山貴司、小林敬司、鶴田国茂、三重堀繁蔵、高野三郎、品田軍治、渡辺左武郎、藤塚栄三郎、佐藤量八、相崎勇次、平石正美、長谷川昌夫（事務係）以上十四名（なお新役員名簿は別記参照）

新役員名簿

顧問	芝桂七・高野三郎
前会長	安達龍作（名誉会長）
副会長	丸山貴司（会長代行）
同	安達市郎（同　補佐）
同	小林敬司（同　）
同	鶴田国茂（同　）
同	三重堀繁蔵（同　）
同	広井三代次（同　）
副幹事長	渡辺左武郎（幹事長代理）
同	安達宗吾・小川茂雄
同	小宮良夫・佐藤量八
幹事	相崎勇次・相崎善次郎
同	安達徳太郎・安達道宗
同	新野今朝二・大矢福次
同	佐藤正雄・品田軍治
同	平石正美・藤塚栄三郎
監事	西沢鑑二・吉原周治

新年有志懇親会
お年玉福引のサービス

東京片貝会新年有志懇親会は、去る一月三十日（日）正午より国電おかちまち駅前の「吉池」七階を会場に開催された。めずらしい暖冬びよりのつづいた正月もあと一日、夜半に降雨があり、日中に雨天と予報されたが、さいわい夜明けとなれば、好天気となり主催者側はひと安心、午前十一時を過ぎると気はやな連中がヤアヤアと笑顔でつめかける。十二時も半ばとなると、定員六十名の会場は七十四名のすしづめとなり、賑かに気勢があがる。

懇親会は例のとおり安達市郎さんの司会ではじまる。安達龍作会長のあいさつがあったのち、芝桂七さんの音頭で乾杯して宴会の幕をあける。この間に相崎勇次さん寄贈になる二十数点のお年玉に加えて会からの景品の福引がおこなわれたが、一等賞をかちえた者、残念賞でガッカリする者、しばらく会場には爆笑、失笑の渦がまきおこる。ついでお国なまりまるだしで佐藤佐平治さんが郷里の近況を語り愛嬌をそえる。

今年のクラス会ではとりわけ女性群の参加が目立った。しばらくぶりの会合で一同上気嫌、酒やビールを汲みかわし、ジュース、折詰のご馳走で、約小半日をこころゆくまで楽しみながら四時半すぎ解散した。

新年宴会風景（挨拶する安達会長）

◎出席者名（敬称略、順不同）

来賓…佐藤佐平治、石上きく。

相崎善次郎、相崎尚次、安達市郎、同静子、安達宗吾、安達徳太郎、安達道宗、安達幸一、安達ヒロ、安達龍作、新野今朝二、石黒佐忠太、芹川とし、内山サカエ、内山菊栄、大矢良平、大矢修一、大矢テル、大内登世、小川茂雄、気田登美、黒崎熊太郎、黒崎孝道、黒崎せき子、日下部政子、桑原紗紀子、小林敬司、同サウ、小林倉三郎、小宮孝作、佐藤正雄、佐藤量八、佐藤竹士、芝桂七、高野三郎、田中キミ子、早川松太郎、広井三代次、福井カツ、丸山貴司、丸山広弥、丸山フジ、丸山松江、丸山春、三重堀繁蔵、皆川せん、美濃村やう、馬場キイ、藤田睦子、本田チヨ、山口三郎、山口富次、山口誠治、山崎キイ、吉原周治、吉原伸治、吉原菊枝、渡辺左武郎、若井やう、高橋千代子、武藤睦子、奥田ふみ、豊田チヨ、山田みい、内藤キヨ子、児島良子、山岸雪子、神林佳子、木村睦子、小宮トシエ、大矢イト、佐藤ヨシ子（以上七十四名）事務係長谷川

◎収支（収入の部）

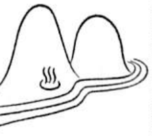
会費（一名千三百円）	九六、二〇〇円
寄付金（二三名欠席一名年度会費一名）	四七、七〇〇円
合計	一四三、九〇〇円
（支出の部）	
吉池支払（折詰、寿し、酒、ビール、ジュース、会場費一式）	八一、三二〇円
菓子（七五個）	五、六〇〇円
福引景品（不足追加分）	五、八〇〇円
合計	九二、七二〇円
差引残高（一般会計へ繰入）	五一、一八〇円

なお相崎勇次さん（欠席）から福引の主な景品二十七点の寄贈がありました。出席者一同心から感謝申しあげております。

味の店
大衆割烹
天ぷら・ふぐ
升本（ますもと）
亀戸蔵前通り交差点三和銀行となり
電話685－0875～6

Tea Room
まるやま
東京都港区赤坂3－20－1
電話　東京（583）2303
地下鉄赤坂見付駅下車3分

奥湯河原温泉
政府登録第210号国際観光会館
仙境　野天風呂
青巒荘
お申込は
電話　湯河原（04606）代表　3111～6
直営東京案内所　電話（712）4622
8月下旬より電話局番改正　日本交通公社
0465～62－3111～6　小田急各案内所



昭和四十六年度収支決算報告

自昭和四十六年一月　至昭和四十六年十二月

収入の部

繰越金（前年度繰越金）	四九、〇五一円
会費（昭和四十六年度分）	二四、七六〇〃
寄付金（総会その他を除く）	七、〇〇〇〃
広告料（会報第九号分）	一五、〇〇〇〃
繰入金（総会・新年宴会残金）	五四、八二〇〃
利子（銀行預金利子）	一、五九一〃
合計	一五二、二二二円

支出の部

通信費（会報発送用）	六、五七〇円
同（総会通知用）	八、五八五〃
同（その他一般用）	六、六二〇〃
印刷費（会報印刷費）	一九、三四〇〃
同（その他一般用）	一一、四七〇〃
事業費（旅費及び片員町行事寄付金）	三七、二九七〃
同（慶弔費、行事費、その他）	一八、六四〇〃
事務費（事務所費、一般事務費、交通費、編集費、事務係手当）	二五、三四五〃
合計	一三三、八六七円
差引残高（次年度へ繰越）	一八、三五五円
外に別途積立金	五四、五〇〇円

右の通り収支決算報告致します

昭和四十七年一月

東京片員会　会計委員

平和への祈り…と教育感謝祭
二大行事の開催
先人の遺徳をしのぶ

「平和祭」ともいうべき、本会役員会の提案になる「平和祭典」および「教育感謝祭」の開催行事の件は、片員町議会有志の共鳴を呼び、さっそくそれが具体化をはかるため、役員会の備考を機を設置するものであると述べた。招集による臨時会が三月二十四日（月）午後一時から片員会所会議室において開催された。

まず安達吉良会長から戦後の経済の向上にかかわらず、精神面で民主主義が個人主位の自己中心主義に陥し、むしろ危険の傾向にある。かかる時にかんがみるとき、関係者間に意見の交換先人の遺徳をしのび、郷土の歴史をふりかえり、自主創造の精神を高揚することが最も肝要であるとの趣旨説明があった。

それより座談会間にうつり、酒杯をあげながら、議案のうちに行事の具体案について討議をひらきをいたし、こころから平和の祈念を捧げる意義を力説するあいさつ者会員から片員町協議会広報の発行、片員町議会有志の共催等が提案され、質疑もなく全員賛成で可決された。

山口太一郎さんから今般発出された勲五等瑞宝章の伝達があり、安達基征男の名誉石碑の提案、安達鉄太郎さんから遊山地所についての占有権の問題が提起され、これが先人の遺徳をしのび、郷土の歴史をふりかえり、自主創造の精神を高めるため、あとうべき若き世代に感化をもたらすゆえんを語り、また良い戦争観確立の上に、今日の繁栄が築かれたことに思いをいたし、こころから平和の祈念を捧げる意義を力説するあいさつ者会員から片員町協議会広報の発行、片員町議会有志の共催等が提案され、質疑もなく全員賛成で可決された。

まず安達吉良会長から戦後の経済の向上にかかわらず、精神面で民主主義が個人主位の自己中心主義に陥し、むしろ危険の傾向にある。かかる時にかんがみるとき、関係者間に意見の交換先人の遺徳をしのび、郷土の歴史をふりかえり、自主創造の精神を高めるため、あとうべき若き世代に感化をもたらすゆえんを語り、また良い戦争観確立の上に、今日の繁栄が築かれたことに思いをいたし、こころから平和の祈念を捧げる意義を力説するあいさつ者会員から片員町協議会広報の発行、片員町議会有志の共催等が提案され、質疑もなく全員賛成で可決された。

大正六年同級会
ホテル長岡で

大正六年三月、片員尋常小学校を卒えた人たちの同級会が、去る四月二十三日（日）午後から、長岡市郊外（かみのやま）三ツ屋のニューホテル長岡で開かれた。

出席者はつぎのとおり。

東京から矢修一、品田重治、安達鐘作、片員から浅田勝一、青原慶太郎、品田二代栄、横山潤蔵、青原静吉、菅島テラ、吉原レン（静岡）石上キク（宮城）山口ハマ（仙台）青原キヌ（小林）本田タツ、青原クニ（宮城）大西リヤ（小野塚）山村キヨ、青原イネ（静吉長女）菅島うら田中カク（大矢）以上二〇名

ふりの顔に話題の花が咲き、夜のふけるのも忘れ、ところから懇親をつくした。

この席で幹事の選出があり、幸雄で幹事団体であるので、主催者または中心推進団体を決めるこの会議があるとの提案がなされた。例えば平和祭典は、軍人遺家族、教育感謝祭は片員議会議員会などが適当ならんと考えるとはかにもこの点を民から発せられ、お批判をうかがって、次回の会合の参考にしたいとの提案があった。

その他片員小学校長などから教育行政面からの助言があり、結論として「りっぱな形式論にとらわれず、会員納得のもとで、開催日時を多くの無理のない実行案をまとめることに決定し三時過ぎ散会した。

東京三仏生会の新年会
角万で賑かにひらく

昭和四十七年度の恒例行事である東京三仏生会の総会ならびに懇親会は、さる三月十二日（日）午後2時から国電山の手の大塚駅北口、料亭「角万」で開かれた。

まず和田県議さんの司会で総会に入る。和田県議会の経過につき前年度の決算報告があり、つぎに和田県議会長から今後の活況、役員の異動などが報告された。

つぎに新役員の紹介があり、会計監査、監事の承認があり、議事をおわる。来賓あいさつに移り、東京片員会会長、安達片員会長、宮田片員会長、安達片員会議員、鈴木東京小学会会長、安達片員会長、横山郷友会長などがあいさつ。

祝辞のつぎに小鬼山小学会ダイム会社長から小学会の土地開発の近況につきいろいろと報告があった。それより二回記念写真を撮影し、三時から再び会場に食膳が準備して懇親の酒宴をひらく。和田会長のあいさつにつき、各郷友会長の紹介があり、一同ビール、酒杯を汲みながら、交歓のひとときを過し五時ごろ散会した。出席者は約六十名（男女）各自へおみやげのサービスがあった。

郷土だより

中学校の新運動場
十三畑に設置

片員中学校は小学校と隣接しており、屋外運動場はこれまで共用のかたちとなっていたが、このたび校舎の西側の十三畑の上に、斜面を整地して広い屋外運動場が竣工し、毎日中学生の格好な遊戯場となっている。

新中学校長に
金子　清さん

東京片員会ならびに会員一同ある試験を実施するわれる。日下企画案を作製中とのわれる。したがって来る六月の東京片員会会議には地元から関係者が一堂にこの吉報などについてあいさつがおこなわれるはずであるが、会員一同よりなにらんの贈呈品が願いたい。

片員小学校の創立
明年が百周年

寺子屋が小学校にかわって近代的な義務教育として学制が発布されたのは明治五年であるが、この機会に明治元年にあたる明治六年十一月一日、これからさかのぼって明治初年百年に相当するという。その輝い歴史的事実を記念して、片員町議会では議員会はじめ片員中学校の都司哲三さんは、今春の異動で同市内の中学校長に転出し、新中学校長には金子清さんが就任した。金子校長は経路さまざまの出身、地元関係のつながりもあり今後の活躍が期待されている。

県道の拡張、舗装工事に
電飾灯施設さる

県道の幅員拡張工事は、すでに片員駅北口から浦町にかけて四十数箇所で一部完成しており、いまは、いそうの賑わいを見せている。そこから先の八島入口までの拡張舗装打ち合わせをし済んだので、わが土事関係の掘り起こし作業が開始されるという。

舗装工事は一部完成しており、この道路の夜間照明施設が整備されるので、冬季の降雪期間でも十分にバス運行が支障なく通行することになろう。

また、電飾灯は交差点の前方に設置されている。用地の買収は二百台は直ちにあるようとのことである。

電話がダイヤル方式に

今まで交換台を通さない通話ができなかった電話も、四月四日から電話局神社前までできるようになった。

雪消し噴水・おおアスファルト舗装工事は、この道路の冬期間中に完成しており、これも三四の町と伸びていけば、盆の道路が整備されるのも、そう遠くはないことであろう。

また、電飾灯は交差点の前方に設置されている。用地の買収は二百台は直ちにあるようとのことである。

大方の話では、加入申込希望者は約六百名にのぼるが、交換台の増設工事が行われ用地、一三、〇〇〇平方米の埋立造成が行なわれている。

関越高速道路
片員を通過か

インタチェンジの関係は関の上、小牛谷の順よりとかで、通過関係は決発表、沼田山麓を通るのか、興味津々の裏山の中腹を通過するのか不明である。

会員各位にお願い

最近、街灯標示設置による町内名番地の通知がありませんため、配達に難渋をお掛けしております。変更のおり必ず通知願います。なお毎度のことながら養柔納のお方は、ご厄介でも同封振替用紙ご利用の上御便宜へお払い込み下さい。なお第十一回総会の会議により年度会費を左の通り改正致しましたのでご協力願います。

会費（一ヵ年分）金三百円也

係より

遠慮なくご利用下さい
松風亭（憩の家）

同窓会、懇談集会などさる四十三年十月六日（会報七号記載）、東京片員会着工等付になる仲倉山（招魂場）「憩の家」の贈呈は、小生会有当局ならびに片員有力者多数の下に盛大な贈呈式をおこなった。

その後ボツボツと利用者はあるが、まだ一般に周知されぬため、活用度あいが低い。そこで本会ではこの利用度のカンバを招魂場入口に掲げることにした。そしてこの憩の家を「松風亭」と名付け広く皆さんに利用公開することにした。

東京から帰省される方々、また在郷者に限らずとも遠慮なく利用されんことをこの紙上でお願いする。この松風亭には水道設備、七リン、飲事道具、蒸器類がそなえてあり、暖房から初秋にかけて観光のおりは郊外で集会を催されることも一興があり、同窓会はじめ懇談会など集会するから気がねいらずに開かれます。なお利用の際は近くの小林雑貨店に鍵を保管してありますから賃借利用者をお託しした上お帰えりに返却下さい。

言
提
過疎、過密の
対策におもう

☆…都市の過密巨大化のあとにくない。それは何単位でなく例えるものはなにか？　公害、交通難は論、富山、長野などを、ひとつの産業経済ブロックとするとには不分所開発の下に巨大な開発が必要となってくるであろうまかりた。

洋の東西を問わず、歴史的にこれを回顧すれば、はるか地中海文明の祖に、ギリシャ、ローマ都市国家の崩壊など、いまさら歴史の教訓にまたがくとも、国家の興亡は盛衰の常道であり、人間生命の未来を失った政治の貧困をいまさら追及してもどうにもならない。すべてのバランスを欠くことは、現代文明の免れ難い運命かも知れない。

究極するところ、日本列島にへん在する土地群を合理的に再配置をして、国土的にはバランスのとれた市街地づくりを通過程にわれた中間的都市づくりを通過程に経営することが望ましい。

具体的には各地区にふさわしい産業形態圏を固めて行かねばならの日宅に執行された。

高速道路の建設があり、スピードアップされた交通網の整備があるが、新聞のように遠隔地における鉄道が十分な役割をされねばならない。

この問題となるものに新幹線やいきすう地帯を人工的整さにかえてゆく。なにぶんにも、まず現住民の意識の発展と協力が大切であることに応に銘ずべきである。（五一〇）

山口タツさん

山口タツさん（故慶次七人）は今春寒から寒のため入院加療中であったが、一月二十六日永大切であることに応に銘ずべきである。（五一〇）

日立電動工具ストール店
各種木工用電動具
大工道具・建築金物
高級刃物・合鍵複製
井ゲタヤ商店
小林敬司
東京都江東区北砂町4丁目40—9
電話東京（644）2562

自動車・電気機械
各種精密ねじ製作販売
株式会社 安達螺子製作所
代表取締役　安達宗吾
東京都港区三田1丁目九番13号
電話東京　451—1604

鮨種専門
株式会社 富春商店
売場　東京都中央卸売市場内(2023)
電話　直通(541)9138
福井カツ